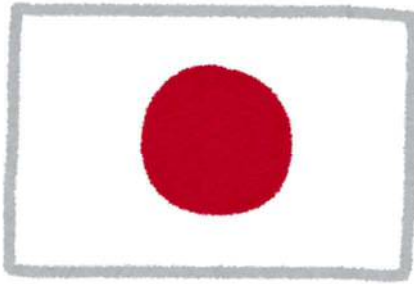


平成30年度

苫小牧市こども国際交流事業

中学生秦皇島市派遣団



報告書



平成30年7月26日(木)~7月31日(火)

苫小牧市

目 次

派遣団名簿	2
事業概要	3
派遣日程表	4
ホストファミリー名簿	6
秦皇島市・北京市紹介	7
「こども国際交流事業を終えて」 団長 苫小牧市立啓北中学校 校長 前田 勝也	9
「中学生秦皇島市派遣団に参加して」 リーダー 苫小牧市立光洋中学校 田村 美海	10
研修日記	11
派遣団報告書	17
帰国報告会	27

派遣団名簿

団員

氏名	学校名	学年	備考
田村 美海	光洋中学校	3年	リーダー
廣澤 さくら	沼ノ端中学校	2年	副リーダー
諸星 美海	凌雲中学校	1年	副リーダー
荒井 しずく	青翔中学校	1年	
栗原 嶺	青翔中学校	1年	
杉原 太智	開成中学校	2年	
鈴木 楓季	札幌日本大学中学校	3年	
田中 理紗	立命館慶祥中学校	2年	
東村 和訓	登別明日中等教育学校	2年	
廣澤 りん	登別明日中等教育学校	1年	

引率者

氏名	所属		備考
前田 勝也	啓北中学校	校長	団長
鈴木 学	啓北中学校	教諭	アドバイザー
林 巧	苫小牧市総合政策部 協働・男女平等参画室	国際交流主幹	事務局員



7月12日出発式

事業概要

●目的

国際友好都市へ訪問することで、若い世代の友好都市交流を活性化させる。また、ホームステイや市内見学を通して外国の歴史や文化に触れることで、異文化について理解し、国際的視野を持つ人材を育成する。

●訪問国（都市）

中国（秦皇島・北京）

●協力

秦皇島市

●事業日程

月 日	曜日	時 間	内 容	備 考
5月19日	土	14:30 ～15:30	選考面接 (作文・面接による選考)	
6月 7日	木	18:00 ～20:00	結団式・第1回事前研修 (説明会)	
6月14日	木	18:00 ～20:00	第2回事前研修 (アイスブレイク・苫小牧講座・秦皇島講 座・中国語講座)	
6月21日	木	18:00 ～20:00	第3回事前研修 (中国語講座・交流内容の話合い・リーダ ー・副リーダー決定)	
6月28日	木	18:00 ～20:00	第4回事前研修 (交流内容の決定と練習・昨年度派遣団員 のはなし)	
7月 5日	木	18:00 ～20:00	第5回事前研修 (交流(歌、踊り)の練習・報告会テーマ 話合い)	
7月12日	木	17:30 ～20:00	出発式(市長表敬訪問)・第6回事前研修 (交流(歌、踊り)の練習)	
7月19日	木	18:00 ～20:00	第7回事前研修 (出発前総練習・諸連絡)	
7月26日～ 7月31日	木～ 火		中国訪問	
8月上～ 中旬			帰国報告会準備 (グループ毎に集まり、報告資料作成)	
8月17日	金	18:00 ～20:00	事後研修 (報告会の練習)	
8月23日	木	18:00 ～20:00	帰国報告会	

平成30年度苫小牧市こども国際交流事業・中学生秦皇島市派遣団日程表

日次	月 日	現地時刻	場 所	内 容	移動	朝食	昼食	夕食	
1	7月26日 木	9:30	市役所	市役所集合	専用バス	-	空港各自	機内食	
		9:40	市役所	一階ロビーにて出発セレモニー後、新千歳空港へ					
		12:00	新千歳空港	新千歳空港発 12:00 羽田空港着 13:35	JL508				
		16:50	羽田空港	羽田空港発 16:50 北京国際空港着 19:45	JL025				
		22:00	北京市内	ホテル着	専用バス				
2	7月27日 金	早朝	北京市内	ホテル発	専用バス		軽食弁当	レストラン	ホームステイ歓迎会
		7:01	北京駅	快速列車 北京7:01発 秦皇島9:59着	快速列車				
		11:00-11:30	秦皇島市内	秦皇島市外事弁公室訪問(友好都市交流担当部署)	専用バス				
		12:00	秦皇島市内	昼食					
		13:30-15:00	秦皇島市内	秦皇島市内観光(景勝地、老龍頭)					
		15:15-17:30	秦皇島市内	学校訪問(秦皇島市立第七中学校)					
		18:00	秦皇島市内	ホームステイ歓迎会	ホスト車				
		20:30	ファミリー	ホストファミリー宅でホームステイ					
3	7月28日 土		秦皇島市内	終日ホストファミリーと行動	ホスト車	ホストファミリー宅	ホストファミリー宅	ホストファミリー宅	
4	7月29日 日	8:00	秦皇島市内	ホテル・駅集合	ホスト車	ホストファミリー宅	レストラン	レストラン	
		9:57	秦皇島駅	高速鉄道 秦皇島9:57発 北京12:17着	高速鉄道				
		12:30	北京市内	昼食	専用バス				
		13:00-19:00	北京市内	北京市内観光(天安門、故宮博物院)					
			ホテル	ホテル着					

5	7月30日 月	9:00	北京市内	ホテル発	専用バス	ホテル	レストラン	レストラン
		10:00-12:00	北京市内	JICA北京事務所訪問				
		12:30	北京市内	昼食				
		13:30-19:00	北京市内	北京市内観光(北京動物園、ショッピング等)				
			ホテル	ホテル着				
6	7月31日 火	5:30	北京市内	ホテル発	専用バス	軽食弁当	機内食	-
		8:25	北京空港	北京国際空港発 8:25 羽田空港着 13:00	JL020			
		14:30	羽田空港	羽田空港発 14:30 新千歳空港着 16:05	JL519			
		17:15	市役所	市役所着後、解散	専用バス			



ホストファミリー名簿

団 員 氏 名	ホストファミリー
田村 美海	赵雪峰・朱晓丽・赵牧心
廣澤 さくら	齐海波・刘伟・齐书瑶
諸星 美海	刘向承・陈欣・刘陈美钰
荒井 しずく	王少辉・王丹・王梓涵
栗原 嶺	蔡中成・肖琳・蔡明钰
杉原 太智	芦军・张秀琴・芦鑫宇
鈴木 楓季	张志刚・林霞・张昊炆
田中 理紗	张阳・薛娇・张博妮
東村 和訓	张宏旺・刘宁・张天一
廣澤 りん	陈浩・骆轶杰・陈羲睿萱



7月27日 ホームステイ歓迎会



中華人民共和国、河北省にある秦皇島市は、首都北京市から高速列車で2時間で行ける人口約300万人の都市です。中国といえば北京や上海などが有名ですが、実は秦皇島という名前は、今回の派遣事業で初めて知った都市名でした。

秦皇島の名前の由来は、約2000年前、秦の始皇帝が不老不死の薬を求め、この地に訪れたという伝説から、「秦」の「皇」帝の「島」で秦皇島になったということです。

秦皇島市には中国最大の貿易港があり、北日本最大の国際貿易港の苫小牧市とは平成10年に国際友好都市を締結し、交流を深めてきました。

気候面では、北京が夏場35度を超えるのに対し、秦皇島市は25度程度で、避暑地として中国富裕層が訪れていると聞いていましたが、実際には連日30度超えでかなり暑く感じられました。

有名な観光場所としては、約3万キロメートルあるといわれている万里の長城の終点があります。日本人観光客がよく知る北京の万里の長城は山の中ですが、秦皇島の万里の長城は海に突き出ている特徴があります。

これらの事により、秦皇島市は、歴史、経済ともにスケールが大きく、中国において重要な都市というのが私の感想です。



山海関



老龍頭

～北京市はこんなまち～



担当：鈴木楓季



今回の苫小牧市こども国際交流事業で、私たちは、北京に3泊しました。1泊目は到着が夜で何もしなかったため、実際に体験したのは4日目と5日目でした。

まず北京とは、中華人民共和国の首都であり、人口は約2,170万人で日本の首都東京の2倍以上、苫小牧市の約126倍以上の人々が暮らしています。

平均気温は12.9度で、苫小牧市の平均気温7.6度と比べると5.3度も高く、実際に滞在中も温度が高く暑かったです。

総面積は約16,810kmで北海道の5分の1です。5分の1なのに東京の2倍以上の人が暮らしていることに驚きました。日本との時差はマイナス1時間で、その点では時差ボケもなかったです。

北京の中心部は自動車の交通量がとても多いため、渋滞が多少あり、まさにイメージ通りといった感じで、駅周辺や町なかも人がとても多かったです。



北京駅



北京動物園



国立故宮博物院

こども国際交流事業を終えて



団長
苫小牧市立啓北中学校
校長 前田 勝也

ほぼ3か月にわたる派遣団の活動も、報告会をもって終了しました。これまでを振り返るとき、その時間は瞬く間に過ぎたように思えます。

生徒たち10名は、苫小牧市内の中学校だけでなく、札幌や登別へも通学しています。学校生活を送りながらの事前研修は、それ相応の覚悟が必要でしたが、いつも熱心に取り組み、回数を重ねるごとに打ち解け、自覚と責任も確かなものとなりました。こうして考えると、出発までの期間で一人一人が育てた力が、派遣団の成功と成果を持ち帰らせたのだと思います。本当に素晴らしい仲間たちでした。

苫小牧市の派遣団として6年ぶりに訪問した秦皇島市は、私たちが考えていた以上に大きな街でした。至る所で高層ビルが建ち並び、たくさんの人と車、電動自転車が行き来する風景には圧倒されました。工業都市からリゾート都市へ生まれ変わるため、現在も発展、成長し続けている姿に活気を感じたのは私だけではないはずです。

そして、訪問する先々では、心からのおもてなしと歓迎を受けました。生徒たちがホストファミリーと共に過ごした2泊も、時間は僅かでしたが、家族のように温かく受け入れてくださり、多くの思い出がつけられたことは、大変ありがたく思います。

また、第七中学校との交流も大きな目的の一つでした。第七中学校は秦皇島市一の進学校で、最近ではスポーツに秀でた生徒も優先的に入学させているそうです。生徒たちの発表や校長先生のお話からは、「学校への誇りと自信」を知りました。私たちは、男子が「よさこいソーラン」で「力強さ」を、女子が「日本舞踊」で「奥ゆかしさ」を伝えることができました。生徒たちが発表を終えた後に見せた安堵した表情と笑顔は、今でも忘れられません。

さらに、万里の長城の東端である山海関や故宮博物館を見学し、本場の中国料理も堪能し、パンダのぬいぐるみも手にしました。

そして何よりも、生徒たちは様々な経験から「伝えよう、知ってもらおうとする気持ちの大切さ」に気づいてくれたと思います。JICAでお会いした青年海外協力隊の隊員が話してくれた「英語は苦手。でも何とかなる。何とかする」にも通じますし、生き生きとした前向きな姿に、自分自身の将来を重ねてみてほしいと思います。

出発前の鈴木先生の言葉、「日本との違いはすぐにわかる。同じところを探して来よう」「同じなのだから心配ない」「自分たちと同じ」。果たしていくつ見つけられたのでしょうか。

このように、生徒たちが過ごした5泊6日の貴重な経験を出発点に、これからの自分に活かすこと。5年先、10年先も「よき思い出」として、心に残してくれることを願っています。

最後になりましたが、素晴らしい機会を与えてくださいました岩倉苫小牧市長様をはじめ、お世話いただいた市国際交流担当の皆様、私たちの派遣を支えてくださいました関係の方々に、改めて心より感謝を申し上げます。

中学生秦皇島市派遣団に参加して

リーダー 光洋中学校 田村 美海

私は、中学生秦皇島市派遣団に参加して感じたことがあります。それはテレビやインターネットの情報だけがすべてじゃないということです。

私は、中国研修前まで、中国について大気汚染や交通機関の整備不良などであまり良いイメージがなかったのですが、実際に行ってみると、資料には載ってなかった日本では見ることができない光景や中国の良いところをたくさんみることができました。

具体的に言うと、一つ目は、中国の人々の温かさを感じたことです。二日間中国の家族の家に泊まらせていただきました。中国語が全然しゃべれなかった中で、携帯の翻訳アプリで会話してくれたり、私の下手な英語を聞き取ってくれたりして何とかコミュニケーションをとろう、楽しませようという思いが伝わってきてとても嬉しかったです。ホストファミリーもその友達にもとても優しく接していただくことができ、中国の人達の温かさを感じることができました。

もう一つは、中国と日本との違いに驚いたことです。例えばバイクを乗る時は一台につき三人から五人くらいまでヘルメットを着けずに乗っていました。中には小さい子供を乗せていたりしてとても驚きました。他にもトイレトーパーを流さないなど、習慣の違いに驚きの連続でした。

中国研修から帰ってきて感じたことは自分自身の語学力が無かったことがとても悔しかったです。将来海外に関わる仕事がしたいと思っていましたが、中国では英語も通じることが分かったので、これからは英語を中心に力を入れ、実力をつけて世界で活躍できる人になりたいです。また中国についても経済成長が進んでいるのでしばらく経ってまた行ってみたいです。

私たち派遣団は、今回の研修事業を通して、たくさんのことを学ぶことができました。この経験は、きっと、私たちの今後の人生に何かの役に立つと思います。

最後に、このような機会を与えてくださった市役所の皆さん、お世話になった前田先生、鈴木先生、添乗員の川原さん、苫小牧ケーブルテレビの佐々木さん、そして、秦皇島市の皆さんやホームステイ先の家族に感謝とお礼の気持ちを伝えます。

ありがとうございました。謝謝！



研修日記

～結団式～ 担当：鈴木楓季

6月7日（木）、緊張した面接以来、初めて10人全員の団員たちと顔を合わせる結団式が行われました。

団員に選ばれたことを実感して、他にも中国へ行く仲間の中학생を見て安心したけど、「中国は安全なのだろうか」「ホームステイで言葉が通じるのだろうか」など、不安が多くとても緊張していました。

結団式が進むなかで、僕たち中學生以外にも、啓北中学校の先生や苫小牧市の担当の方、旅行会社の方などが一緒に行くことが分かり少し安心しました。結団式でテレビのカメラを見たときは少し緊張しましたが、徐々に慣れていきました。

結団式では秦皇島市がどんなところか、旅行の注意点などの説明があり、「本当に行くんだ！」ということを実感して、緊張しながらも、少しずつ気持ちが高ぶるのが分かりました。

結団式を終えて、それでもまだ不安のほうが大きく、また団員ともまだあまり話せませんでした。これから団員みんなで力を合わせて、この事業を成功させたいと強く思いました。



～第2回・第3回事前研修～ 担当：栗原嶺

第2回事前研修では、みんなと交流を深めるゲームから始まりました。みんな緊張して話したりできない状況でしたが、ゲームを通じて、少しだけ打ち解けることができました。その後、王先生から中国の概要について教えてもらい、中国語の練習を始めました。初めての中国語は難しいですが、頑張って練習しようと思いました。

第3回事前研修では、前回に引き続き、中国語の練習から始まりました。ホームステイ先で必要な「食べたい」「飲みたい」という中国語を教えてもらいましたが、発音が難しかったです。そのあと、学校交流で披露する内容を話し合いました。話し合いの結果、学校交流ではよさこいと日本舞踊を、歓迎パーティーでは自己紹介と特技、歌を披露することに決めました。研修の最後には、リーダーと副リーダーを決めました。研修も3回が終わり、少し緊張もほぐれてきました。



～第4回・第5回事前研修～ 担当：諸星美海

第4、5回事前研修では、中国語で自己紹介をする練習と交流の練習をしました。自己紹介の練習では、簡単な挨拶から始まり、自分の名前や年齢、学年などを学びました。王先生に続いて言ったり、細かな発音を何度も聞いてしっかり覚えめました。

交流練習では男子はよさこい、女子は日本舞踊を練習しました。音源を聴いてどんな感じなのかを確認した後に、合唱の練習をしました。合唱曲は「翼をください」になり、さくらちゃんを中心となって進みました。発声練習から始め、音とりをしたりとみんなで協力をして作っていきました。

みんな1回目は緊張していてなかなか話せなかったけど、4、5回目ぐらいになるとすごく仲良くなっていてこれからのみんなとの研修がすごく楽しみだと思いました。しっかり練習して発表を成功させたいと思いました。



～第6回・第7回事前研修～ 担当：荒井しずく

ついにやってまいりました。最後の2回の研修です。

中国訪問はもう目の前ということで、よさこいや日本舞踊、中国語を完成させることを目標に練習に励みます。みんなも心なしかウキウキした様子。

6回目ではホームステイ先が決まり、私は「この家の人たちと一日を過ごすのだなあ。」と実感がさらに湧いてきました。

自己紹介は、今までの自分の練習を信じて堂々で行うことができたと思います。先生方も「堂々と自信を持って取り組むことが大切だ」と言っているので、中国へ行ってもこの調子でいきたいです。

男子のよさこいや女子の日本舞踊も歌も、続けてきた練習の成果がしっかり出てきているようで前進を感じることができました。

練習はできる限りしてきました。中国でもそれを発揮し、交流を通じてたくさんのかことを学んでいきます。



～訪問1・2日目(7/26-27)～ 担当：杉原太智

7回の事前研修を経て、いよいよ中国旅行の日。

市役所での出発式では、期待と不安がありました。期待の方が大きかったです。飛行機では楽しみにしていた機内食ができました。豚丼のようなものでおいしかったです。

国際線に乗るのは初めてだったのですが、長い間座っているのは少し疲れました。

北京空港に着いたときは、蒸し暑くて夕日がきれいでした。空港には今まで見たことのないような世界各国の飛行機があって、もっと見ていたかったです。

2日目の朝、北京駅に到着。北京駅は東京駅のように大きくて、いろんな国の旅行者がたくさんいました。列車で秦皇島市に移動。ガイドさんに中国語のあいさつの確認をしてもらったり、トランプをしました。途中、列車の窓からはきれいな山の景色がみえました。

秦皇島市に到着し、この旅行で初めての中華料理を食べました。今まで水餃子をあまり食べる機会がなかったのですが、とてもおいしかったです。

中学校訪問では、3日間お世話になるホストファミリーの学生とペアになって学校を案内してもらいました。その後、チアダンスやサッカーを見せてもらいました。こちらは事前研修で練習したよさこいと日本舞踊を披露しました。

歓迎パーティーの後、ホストファミリーが営む餃子店へ行き、4種の餃子を食べたり、餃子の包み方を教えてもらいました。ここの餃子店の餃子も日本では食べたことがない、とてもおいしいものでした。



～訪問3・4日目(7/28-29)～ 担当：廣澤さくら

研修3日目、ホームステイ2日目です。今日は1日中、ホストファミリーの家族と行動をしました。私は、朝の9時くらいから、河北にある7・8海里的ウォーターライダーに乗って遊びました。それは、自分が想像していたものより、はるかに刺激がすごくて、服がビチョビチョになりました。けど良い思い出になりました。

昼は中国風のしゃぶしゃぶを食べました。驚いたことは、だしと調味料を自分で作れることです。私はすべてホストマザーにやってもらったのですが、とてもおいしくて感動しました。16時くらいに、相方の友達とお姉さんがやって来ました。そして私は、たくさんの日本語を教えました。例えば「おはよう」「ただいま」「いこう」などです。とても上手で、たくさんほめてあげました。一番印象に残ったのは庭園博物館です。

夜のウォーターショーはとてもステキでした。夜おそくまでいましたが、とても楽しかったです。今日1日はとても充実しました。また秦皇島での楽しい思い出をつくれて良かったです。

研修4日目です。朝9時くらいに秦皇島駅に全員集合しました。手にお土産を抱えてやって来た杉原太智、風船を手を持って来た栗原嶺、皆それぞれ思い出を胸に込めてやってきました。ホストファミリーの家族とお別れをして、高速鉄道に乗りました。行きのように部屋ではなくて、日本の電車のように席に座りました。前と

違和感がありましたが、楽しく過ごせました。高速鉄道で北京まで移動しました。

その後、故宮に行きました。驚いたことがたくさんありました。部屋は1, 999個あることや、通り道に木が1本もないことにびっくりしました。これで新たに中国の歴史を学ぶことが出来て嬉しかったです。このような驚きを国の人に教えてあげたいです。今日一日は、すごく暑くて倒れそうだったけど、楽しいことがたくさんあったので、また一つ良い思い出ができました。



～訪問5・6日目（7/30-31）～ 担当：廣澤りん

私たちは最終日、北京市内を観光しました。まずJICA北京事務所に訪問しました。世界の現状やJICAの活動を知ることができ、見聞を広められたので良かったです。次にレストランで昼食をとった後、北京動物園へ行きました。本場のパンダや希少なホワイトタイガーなどを見ることができ、貴重な経験となり、嬉しかったです。その後、お茶のお店へ向かいました。ここでは、中国の伝統的なお茶をたくさん試飲でき、良かったです。それぞれが気に入ったお茶を買い、夕食会場に行きました。本場の北京ダックは、とてもおいしかったです。ずっと食べたかったので、食べられてよかったです。

帰国する日、北京空港から羽田空港へ向かいました。機内食でカレーが出ましたが、久しぶりの日本食だったこともあり、すごく美味しく感じました。羽田から千歳へ行き、苫小牧に戻りました。忘れられない思い出ができ、たくさんの経験をした旅はとても楽しかったです。一生、忘れられない思い出になりました。



～事後研修 (8/17)～ 担当：田村美海

研修でとても打ち解けあって仲良しになった仲間たちに会うのを楽しみにして行った事後研修では、中国で学んできたことを市長さんや家族に発表する会に向けての準備でした。

たくさん撮ってきた写真の中からテーマに沿ったものを選ぶ作業から始まり、どのようにしたら上手に伝えられるか、パソコンを使ったり、話し合いをたくさん重ねて最高の出来になったと思います。

最初の練習では、なかなか上手くいかないことが多かったけど、改善点を出し合って、3回目の練習では上手に出来たと思うので、後は報告会で緊張せず落ち着いて話せるように頑張ります。



～帰国報告会 (8/23)～ 担当：田中理紗

8月23日、18時から「こども国際交流事業中学生秦皇島市派遣団」の帰国報告会が市役所5階で行われました。

報告会は、派遣団員が2つのチームに分かれて、研修で学んだことを写真、映像を使って説明したり、市長からの質問に答えたりしました。最後に旅先での思い出スライドショーをみんなで観賞しました。

報告会では、市長や保護者からの質問コーナーでたくさん質問をもらったり、団員からもそれぞれに感想を述べるなど、楽しい報告会でした。

派遣団員は練習が1回だったにも関わらず、とてもスムーズに説明ができていて、大成功でした。



派遣団報告書



7月26日 羽田空港から中国へ

私は今回の秦皇島市への派遣で、苫小牧と秦皇島の違いをたくさん学ぶことができました。そして、苫小牧市が改善すべきところがいくつか見つかりました。例えば、自然、人と人との接し方、騒音などです。どれも苫小牧とは違い、特徴がありました。

しかし、その中でも驚いたことがありました。それは、電力のことです。日本は火力発電を中心に電気をおこなっています。中国でも火力発電を行っているのですが、日本よりも施設が少ないことにびっくりしました。しかも、水力発電もさかんに行っているのです。すばらしいと思いました。

ホームステイ中にいくつか施設を見ましたが、盛んに行っていて、これもまた中国のすばらしいところなんだなと思いました。

今回はこのような貴重な体験をさせていただいて、本当に感謝しています。中国の良さをみんなに伝えたいと思います。



私は中国に行ってとてもいい経験ができました。とにかく驚きの連続でとても心に残りました。

北京の空港に着いたのは夕方でした。空港がとても広かったこと、税関の人が怖かったことが印象に残っています。2日目に秦皇島市へ行きました。人や車がとても多くクラクションがずっと鳴り続けていることにびっくりしました。気温が高く、溶けそうなぐらい暑かったです。第七中学校はとても広くて体育館は地下にありました。私はメイユイちゃんという女の子の家にホームステイしました。メイユイちゃんはとても優しく質問などをたくさんしてくれました。スマホの翻訳アプリを使いながらでしたが、コミュニケーションをとることができました。お家で部屋案内をしてくれてシャワーやエアコンの使い方なども教えてくれ、ファミリーも優しくかったので安心して過ごすことができました。3日目はメイユイちゃんやファミリーと一緒に北戴河の海と秦皇島野生動物園に行きました。海には図書館と教会があり、写真をたくさんとって歩きました。野生動物園ではキリンにエサをあげました。シマウマが車の横を通ったり、おりに囲われていない動物がいたのでビックリしました。

4日目、5日目はファミリーとお別れして北京に戻りました。故宮博物館に行って歴史を学んだり、北京動物園に行ってパンダを見てぬいぐるみを買ったりしました。人生初のパンダだったのですごく嬉しかったです。

中国の人達はすごく優しくかったです。国を越えても仲良くできることを学びました。この事業を企画し、進めてくださった市の皆さん、お世話になった林さん、川島さん、王さん、川原さん、佐々木さん、前田先生、鈴木先生、団員のメンバー、家族、本当にありがとうございました。学んだことを活かして、これからもがんばっていきます。



とてもワクワクしながら私は家を出ました。飛行機に3時間ほど乗って、中国についた時にはもう夜。私は明日からの生活に胸をおどらせ、ぐっすり眠りました。

次の日、朝早くに鉄道に乗りこみ北京から秦皇島へ移動です。朝早いのに外は暑く、私はすぐに汗をかき始めました。秦皇島につくと、最初に市役所へ訪問しました。そこでは秦皇島を紹介していただきました。その後、到着2日目にして初めての本格的な中華料理を食べました。とてもおいしいものがあれば、よく分からない料理もあって少しスリリングでした。お腹いっぱい食べた後は学校訪問です。そこで初めて、ホームステイ先の子と会いました。とても背が高くて、他の子を見てみるとみんな背が高くてびっくりしました。それに、その子が「アライサン？」と聞いてくれて、うれしくて「Yes!」と私は笑顔で答える事ができました。その後学校を紹介してもらい、そのまま交流会に出席しました。その時、浴衣に着替えたら王梓涵さん（ホームステイ先の子）が「カワイイ」と日本語で言ってくれてうれしかったです。向こうもダンスや書道、琴の演奏を披露してくれて楽しかったです。そしてレストランに移動し、ホームステイ歓迎会に参加しました。そこでも私は、緊張していて、王梓涵さんとあまり話せなかったです。そして、いよいよホームステイの時が来ました。ホストファミリーのお家は海の近くでビーチも近いのだと王梓涵さんが教えてくれました。そんな会話をしている間に、マンションにつきました。変わった形のマンションでホテルみたいだと思いました。中も生活感がない程キレイでした。ある程度、荷ほどきをした後、海を散歩しました。ビーチでは、海に足だけ入れている人や砂浜でくつろいでいる人がいました。月が海に映っていてキレイでした。

次の日はホストファミリーと1日を過ごしました。朝から外食だったのがびっくりしました。ホストファミリーは車で色々な所につれていってくれました。海、山、日本料理店、ショッピングモール…。海で船にのってクルーズを楽しんだり、日本料理は違うのか考えたり、ショッピングモールで王梓涵さんと一緒に写真を撮ったり、一日はあっという間に過ぎました。どれもとても楽しく、大切な思い出です。

この研修では、大切な事に気づき、私を成長させてくれました。先生方、ホストファミリーの方々、本当にありがとうございました。



僕は中国に行ってきました。中国はとても驚くことばかりでとても新鮮でした。

始まりは面接からでした。そこで合格し、中国へ行く前の事前研修があり、中国語などを勉強しました。1回目、2回目は、僕もみんなもとても緊張して話したりできない状況でしたが、6回目、7回目になるとおしゃべりが絶えなくなっていました。

7月26日、日本を出発しました。千歳空港から羽田空港まで約1時間、羽田空港から中国まで4時間、計5時間乗っていて、僕らにはとても長い道のりで大変でしたが、その後、ホテルで疲れが吹き飛ばすくらいぐっすり眠りました。

7月27日、中国は時差が1時間くらいあるので合わせ、まず電車に乗って秦皇島に行きました。驚いたのは昼食の時です。1人1食ではなく、色々な料理が出てきて、みんなで食べました（食べきれない程に出してきました）。そして食べ終わり、ついにホームステイ先の人に会うのでみんな緊張気味だったのを覚えています。

7月28日、ホームステイ先で1日を過ごしました。みんな何をしているかな？僕はブドウが好きと言ったのをきっかけに初めてのぶどう狩りへ行きました。

7月29日朝、みんなと合流しました。帰りの電車ではホームステイ先のおみやげでパンパンでしたが、みんなホームステイ先の出来事を話していました。

7月30日、ついに最終日となった研修。最後は皆さんおまちかねの北京動物園でパンダを見て、パンダのグッズやパンダのお菓子を買って、とても楽しかったです。なんとその夜みんなのパンダを合わせてパンダタワーにして遊びました。

僕がこの研修に参加して成し遂げたかったことは、何となく研修を終えるのではなく、目標をもって何かを成し遂げることでした。

事後報告会で研修は終了しましたが、この研修に参加していなければ決して出会うことがなかった9人の団員と友達になりました。この機会を与えてくれた人たちと家族に心から感謝します。本当にありがとうございました。



僕の夢がこんなに早くかなうとは、思ってもみませんでした。小学生から英会話を習い、外国人の先生と触れ合うことも多かったので、海外旅行や留学に行ってみたいという思いがずっとありました。そして今回の苫小牧市こども国際交流事業に応募し、合格の通知が来たときは本当に感激しました。

7回にわたる事前研修では、訪問する中国の知識を深めることができましたし、訪問先の秦皇島第七中学校で披露する出し物を練習することなどを通じて、一緒に旅行するメンバーとも少しずつ話せるようになりました。

北京空港へ着いた時は、テレビでしか見たことがない、日本とはちがう景色を目の当たりにし、夢の中にいるようでした。夕方なのにとても暑かったです。2日目は秦皇島の中学校を訪問し、待ちにまったホストファミリーとの対面でした。歓迎パーティーの後、ホストファミリーの方が営む餃子屋で餃子のつくり方を教えてもらいました。日本に帰ってからも練習しています。

3日目には、万里の長城を見学に行きました。2000年以上前につくられた万里の長城に自分が立っている事が、とても不思議な気持ちでした。4日目の朝、ホストマザーが作ってもたせてくれた肉まんの味は、今でも忘れられません。北京に戻ってからは天安門を観光しました。広大な敷地に数えきれない門があり、昔はこんなに大きな門をどのようにして作ったのだろうと思いながら見学しました。

5日目のJICA事務所訪問では、知っているようで知らなかった日本と中国の関係や、環境問題について説明をしてもらいました。北京動物園ではパンダを見ることができました。日本でもそうですが、中国でもパンダは人気のようでした。夕食で食べた初めての北京ダックは、カリカリしてとても美味しかったです。6日目、中国をたつ飛行機の中で、今回の旅行でお世話になったホストファミリーに会いにまた中国へ来ようと決めました。

今回の旅行では、ホームステイ先の家族と仲良くできるか心配でしたが、本当によくしてもらいました。中国では来客を本当によくおもてなしをするという習慣があるようですが、僕もホームステイにくる外国人を受け入れて、おもてなしをしてみたいと思いました。帰国後もホストファミリーとチャットをしたり、写真を送って合っていて楽しんでいます。この国際交流をこれからも大切に続けていきたいと思いません。今回、このような機会を与えてくださり、心から感謝したいと思いません。



結団式を終えて、中国語の勉強やよさこい、歌の練習をして準備をしてきました。

中国に行くのは初めのうちは緊張していたけれど、研修を通して勉強したので最後はリラックスできました。出発式当日は、あまり緊張はなく、これから体験することでワクワクしていました。

秦皇島に訪問して秦皇島市の中学校に訪問しました。初めて外国の学校を見てすごびっくりしました。人口が多いので学校はとて大きく教室の数はとても多かったです。学校を見た後、交流が行われました。交流ではチアダンスや伝統舞踊を見せてもらいました。私たちは、男子はよさこい、女子は日本舞踊を披露しました。緊張して少し間違えたけど、やりきることができました。そして訪問時に初めてホームステイ先の学生と家族に会いました。挨拶を交わしてとても緊張しました。学校からお土産をもらってとても嬉しかったです。

ホームステイ先の方々とみんなと一緒に夕食に行った後、みんなと別れホームステイ先の家族とホームステイ宅へ行きました。家は意外と近く過ごしやすい環境であったと思います。2日目に、中国の秦皇島軍事科学教育VR博物館へ行きました。博物館では潜水艦や戦闘機、軍の歴史などVRで体験でき、とてもリアルでびっくりしました。自分で操縦することができるものもあり、とてもいい経験をしたと思います。その後、家に戻り、夕方に海へ行きました。海は人がとても多く人気のスポットでした。海の水はきれいなわけではなく、ちょっと濁っていました。20分近くずっと入っていましたが、遅い時間なので寒くて海の中で体がガタガタと震えてきました。海に入っていて中国人の子供に話しかけられました。ホームステイの学生が通訳してくれて、日本語をしゃべってくれと言われたので「こんにちは」と言ったら笑っていました。日本人を見たのは初めてだったらしいです。夜はホームステイ先の学生が好きな日本のアニメを見ました。日本語を学び始めた理由がアニメだったそうなので日本の文化はすごいなあと実感することができました。

最後に、同行してくれた先生、担当者の方々、事前研修で、中国語を教えてくれた王さんやいろいろサポートしてくれた川島さんにとってもありがたく思っています。ホームステイや、中国の観光など初めてで貴重なとても楽しい事業に参加して経験したことをこれからのために役立てていきたいです。



私は、中学生秦皇島市派遣団の一員として中国を訪問しました。

事前研修で初めて団員に会った時は仲良くなれるか不安でしたが、研究を重ねていくうちに、信頼関係も深まり、発表の練習も順調に進んでいきました。

中国・北京に着いた時、夜だったのにもかかわらずとても暑いという印象がありました。苫小牧とは気候が違うなと思いました。

私がホームステイでお世話になった妮ちゃんの家族はとても優しくてよく話しかけてくれました。妮ちゃんは段差があると「気を付けて」と声をかけてくれたり、わからない事があると翻訳機を使って教えてくれたりしました。

ホストファミリーは私を博物館と海に連れていってくれました。私は博物館でみた秦皇島の伝統的な踊りを取り入れた歴史の劇に感激しました。劇なので言葉がわからなくてもわかりやすく、踊りも日本とは違う感じがしてとても新鮮でした。

中国のJICA事務所にもお邪魔させていただき、とても貴重なお話を聞くことが出来ました。元々国際関係には興味がありましたが、直接お話をさせていただきもっと興味が湧いてきました。

私は、中国へ行くまで中国の人は恐いなという先入観を持っていました。しかし、中国の人はとても優しくて、フレンドリーで情に厚い人が多かったです。飛行機で3時間ほどの距離にありながら私は中国について間違っただけで中国のことを知らなかったなと思いました。

私は今回の研修で中国という国についてよく知ることが出来ました。家族とは連絡を取れない状態でしたがとても充実した時間を過ごすことが出来ました。この研修を将来に生かしていきたいと思いました。このような体験をさせていただきとても嬉しく思います。



私が中国に行ってみたいと思ったきっかけは、学校の社会科の授業で先生自身が過去に中国をバックパッカーで巡った時のレポートとその話がとても面白く印象に残っていたからです。実際に中国に行ってみて現地の文化に触れることは楽しみでしたが、正直ホームステイに関しては不安でいっぱいでした。

事前研修は川島さんの進行のもと全7回行われました。王先生に中国文化と中国語を教わりました。初めて習う中国語は難しかったけど新鮮で楽しかったです。昨年のニュージーランド研修に参加した同じ学校の荒井先輩には仲間を大切にすることや研修、ホームステイでのアドバイスを頂きました。事前研修を通して不安も消え出発日を迎える事ができました。

とは言ってもホームステイはやはり緊張しましたが、お世話になった翔さん一家は私を自分の子のように接してくれました。手作りの水餃子はとても美味しくて沢山食べました。子供の天一君（中三）とその友達に来てサイクリング、キックシャトル、家ではスマホゲームなどをして遊び楽しかったです。また、天一君が使っている教科書やノートを見せてもらいましたが、勉強をかなり頑張っている事が伝わってきて、帰国してからの夏休みの課題、すぐに待つ定期考査の事を思い少しブルーになりました。自家用車で万里の長城の東端、山海関にも連れて行って頂き感謝し尽くせません。

JICA訪問では日本と中国との関わりで頑張っている方々のお話を直接聞くことができました。自分も将来は国際貢献ができる人間、何か一つでも人の役に立つ人間になりたいと思いました。

今回の研修中は苦小牧の家族や友達に一度も連絡を取れませんでした。それは、LINE、Gメールといった毎日使っているものが、ネット環境があっても国の規制で使うことができなかつたからです。自分の当たり前が通用しないこと、世界は広いんだと実感しました。今回の研修で私は周りに助けてもらってばかりだったと反省しています。やさしく全体を見守ってくれた前田校長先生、時には厳しく私達をまとめてくれた鈴木先生、親切で頼もしい林さん、素敵なプランを用意してくれた川原さん、明るく照らしてくれた佐々木さん、そして団員のみなさん。このメンバーで貴重な体験ができたことに感謝します。



私は中国に行って、学んだことや楽しかったことはたくさんあります。一日一日が貴重で最初は長いと感じた旅も段々と短く感じる旅となりました。特に印象深いのはホームステイと北京市内の観光です。

まず、ホームステイではホストファミリーが様々なことを体験させてくれて、鮮明に覚えています。色々なレストランで中国の料理を教えてもらえて嬉しいです。中国の印刷、染め物の体験をしました。世界に一つだけの物を作ることができ、中国の文化に触れることができ、またとない体験をさせてもらえました。ホストファミリーの家では、たくさんの果物を食べました。とてもおいしかったです。言葉の壁が厚かったです。相手はたくさん話しかけてくれたのに、それを理解できなくて心苦しかったです。でも、心では通じることができたと思います。ホームステイが始まった時は、不安しかなかったのに、別れとなると急に悲しくなりました。別れ際には大量の果物をくれました。そのことから中国人の優しさを感じました。またいつかホストファミリーと会いたいです。

次に、北京市内の観光では中国の歴史や文化に触れることができました。故宮の訪問からは、建物の迫力がすごく、歴史を感じました。故宮の建物内は、文化が分かるような感じになっていて、幻想的でした。北京動物園では、本場のパンダに感動しました。パンダからは歴史が感じられました。そして壁には、きれいな模様が刻まれていて、日本にはないような不思議な感じでした。観光ではないですが、スーパーにも行きました。日本と構造は同じだったのですが、売っている物がとても個性的でした。日本のスーパーにも海鮮は売っていますが、中国のスーパーには水槽に生きた魚などが入って売られています。他にも量り売りが多いなど日本とは違うようなスーパーでした。会計も自分たちでしましたが、店員さんは優しく接してくれました。

中国にあまり良いイメージを持っていなかったため、この研修に参加した私ですが、今回研修に行って、たくさんの魅力を発見しました。特に中国の人は優しくて、フレンドリーだということが分かりました。困っていたら、すぐに助けてくれる人が多かったです。この研修でイメージは良くなり、たくさんの思い出ができました。

研修に参加させていただき、ありがとうございました！！



帰国報告会

平成30年8月23日、秦皇島市派遣団は3か月に渡る事業の集大成として、市長や保護者に向けて帰国報告会を開催しました。

5人ずつ二つのグループに分かれ、研究・発表した内容を紹介します。

グループA

いっチャイナ

栗原 嶺 杉原 太智
田村 美海 廣澤 さくら
 廣澤 りん

ミッション INチャイナ



グループAの
ミッションを
紹介します！



日本のお菓子
と似た商品が
たくさん！

3. かっぱえびせん！？
中国版 日本版 japan



お菓子にプリント
されているのは
コアラではなく、
熊でした。



5. コアラのマーチ!?

中国版



中国のしゃぶしゃぶ
は、自分で調味料を
作ります。出汁が
きいておいしい!

ホームステイでの料理
廣澤さくら



水餃子を作りました。
秦皇島は海鮮水餃子が
有名です!



ホームステイでの料理
栗原嶺

出来た水餃子



ミッション3. 模様

- 1. 故宮内の模様
- 2. 地面の桜の模様
- 3. 北京動物園の壁の模様

北京や秦皇島で
印象に残った模様
を紹介します。



1. 故宮内の模様



対称な模様や彫刻された
柱がとてもキレイでした。



3. 北京動物園の壁の模様



龍や植物の模様が丁寧に
刻まれていて、中国らしさ
が表現されていました。

2泊3日のホームステイ
を行いました！色々な
ところに連れて行って
くれました。



2泊3日と短い期間でし
たが、色々な話をして、
ホストファミリーと充実
した時間を過ごすことが
できました。



3. 感想



グループB 北京ダック

荒井 しずく 鈴木 楓季
田中 理紗 東村 和訓
 諸星 美海

世界一受けたい授業 IN 中国



北京ダック
世界一受けたい授業
in 中国
鈴木楓季・東村和訓
田中理紗・荒井しずく
諸星美海

グループB
「北京ダック」
今日の時間割
です！



今日の時間割

1時限目 中国の建築物

2時限目 中国の歴史1・2

休み時間 北京ダックについて

3時限目 生活文化の違い

1時限目 中国の建築物



バスに乗りながら建物を撮りました。

中国の高層マンションです。とても不思議な形です。

中国の建築物
です。高層マン
ションが多く、
不思議な形を
していました。





歴史的な
建物や
左右対称
のものも
多くあり
ました。



秦皇島の山海関や
北京の故宮を見学
し、歴史も勉強
してきました。



2時限目 中国の歴史



万里の長城の入り口にあ
る山海関の岩

故宮博物館の中にある瓶



2時限目 中国の歴史2



この建物は故宮とい
います。
面積は725000m²
で東京ドーム約3個
分です。

本場の北京
ダックは最
高でした！



北京ダックとは？

窯の中でアヒルを焼き、皮を削ぎ、野菜と一緒に小麦の皮で包む料理である。



進化



進化



3時限目 日本と中国の文化の違い

1. 生活文化の違い
2. 伝統文化

ホームステイ先のお風呂場はトイレと一緒に、シャワーだけでした。

1. 生活文化の違い



ホームステイ先のお風呂場



2. 伝統文化 伝統舞踊



伝統舞踊の「変面」や、
伝統楽器の「二胡」の
演奏も見る事が
できました。

伝統楽器



パンダクイズ！

Q,右の写真の一番下のパンダの名前は
何でしょう？

- 1、パンダキャノン
- 2、デカパンダ
- 3、ビックキャノン



北京動物園で買った、
通称「ビックキャノン」

食べ物クイズ

Q.この豚まんの中には何が入っているでしょう？

- 1、お肉
- 2、海鮮
- 3、あんこ



豚のまんじゅうに
入っていたのは
「あんこ」でした。



発表の様子



みんなお疲れ様でした！

平成30年度苫小牧市こども国際交流事業
中学生秦皇島市派遣団報告書

平成30年12月発行

総合政策部 協働・男女平等参画室 国際交流担当

〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号
TEL 0144-32-6157 (直通)

<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/kyoiku/kokusaikoryu>